

目 次

2009年度事業関係

事業内容報告

【1】事業活動	5
【2】組織と運営	20

2010年度事業関係

【1】本年度事業計画の概要	22
【2】事業活動	24

2009年度決算報告および2010年度予算	28
-----------------------	----

会員関係	34
------	----

* 2010年度理事監事名簿	
* 2010年度ボランティアグループ運営委員名簿	
*会員名簿	

寝屋川市民たすけあいの会会則	37
----------------	----

特定非営利活動法人

寝屋川市民たすけあいの会定款	40
----------------	----

寝屋川市民たすけあいの会のあゆみ	51
------------------	----

寝屋川市民たすけあいの会

2009年度事業内容報告

寝屋川市民たすけあいの会は、1978年5月に設立以来、市民の手により主体的につくられた寝屋川ボランティア・ビューローを拠点として、様々な地域活動を行ってきた。

2009年度に実施した当会の事業活動概況は次のとおりである。

2009年度は、前年度の寝屋川市民たすけあいの会発足30周年をふまえて、現在のたすけあいの会の組織や事業のさまざまな課題が明らかになり、時代にあわないもの、現状にあわないものを休止したり、形を変えたりをしている。

会の活動自体は再考期に入り、今年度より組織変更の準備と事業活動などの見直しなどをはじめた。

以下は「たすけあいの会」が2010年度に行った事業の内容である。

事業内容

【1】事業活動

【1】地域活動／高齢者・障害者・子どもの生活を支援する事業

A ボランタリー活動

(1) 在宅ボランティア派遣活動・・・活動なし。依頼はあるがボランティア・コーディネートを休んでいることと、ボランティアがいないので、お断りしている。

(2) 交流活動・サロン活動・つどい活動

① 外出交流会

1984年度より、在宅の寝たきり老人・障害者・難病患者等とその家族、およびボランティアの交流の場づくりを企画し、年に2度ほど外出している。2009年度は予定をしていたが、新型インフルエンザの影響で中止した。

② たすけあいサロン（ミニデイサービス）

たすけあいの会では2000年度6月より、月に1度（第1土曜日）にめぐみデイサービスセンターをお借りして、ミニデイサービス（たすけあいサロン）を開催はじめた。2001年度8月より場所を「ぼちぼちはうす」に変更し、続けている。毎回6～11名程度の比較的年齢の高い方、中途障害、難病の方がが集まっておしゃべりに花をさかせている。

4月	5日（土）	6名
6月	7日（土）	8名
7月	5日（土）	7名
8月	2日（土）	7名
9月	6日（土）	8名
10月	4日（土）	6名
12月	13日（土）	9名
	1月25日（日）	14名 新年会
	2月13日（土）	7名

総計 のべ72名

③ 寝屋川さくらんぼの会ミニデイサービス

1998年に寝屋川市で開催した失語症ライブの同窓会を元に、言語障害、失語症を持つ人たちの会「寝屋川さくらんぼの会」が結成された。2001年11月からは、めぐみデイサービスセンターにて言語聴覚士の方の協力を得、月に1度（第3土曜日）にミニデイサービスを行っている。現在は、場所を保健福祉センターに変え、言語聴覚士の専門学校生（大阪医専）のボランティアの協力を得ながら活動を行っている。現在の登録メンバーは8名。今年度、3名の新しいメンバーが新たに来られるようになった。

4月18日（土）	参加者2名	家族名	ボランティア	6名
6月20日（土）	参加者2名	家族名	ボランティア	5名
7月18日（土）	参加者2名	家族名	ボランティア	3名
9月19日（土）	参加者4名	家族名	ボランティア	6名
10月17日（土）	参加者4名	家族名	ボランティア	5名
11月14日（土）	参加者3名	家族名	ボランティア	6名
12月19日（土）	参加者2名	家族名	ボランティア	7名
1月16日（土）	参加者1名	家族名	ボランティア	10名
2月20日（土）	参加者5名	家族1名	ボランティア	5名
3月20日（土）	参加者5名	家族1名	ボランティア	14名

総計 のべ参加者30名 家族2名 ボランティア67名

(3) 福祉施設などへの訪問ボランティア活動

① 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園

1978年より毎月1回（第3火曜日）、市内の特別養護老人ホームを訪問し、清掃、縫製、お年寄りの話し相手・代筆等の活動を行っている。参加ボランティア3～5名。活動内容は古着の裁断やガーゼ折りなど。

	日 時		活 動 内 容	参加数
1	4月14日	10時～12時	ガーゼ(大・中・小)折。	5名
2	6月16日	10時～12時	古着の裁断。ガーゼ(大)折。	4名
3	7月21日	10時～12時	ガーゼ(大・中)折。古着の裁断。	3名
4	9月15日	10時～12時	ガーゼ(大・中)折。古着の裁断。	4名
5	10月20日	10時～12時	ガーゼ(大)折。古着の裁断。	3名
6	11月17日	10時～12時	ガーゼ(大・中・小)折。	3名
7	12月15日	10時～12時	ガーゼ(大・中・小)折。 ソックスに名札を縫い付ける。	5名
8	1月19日	10時～12時	ガーゼ(大・中・小)折。	3名
9	2月16日	10時～12時	ガーゼ(大・中・小)折。	5名
10	3月16日	10時～12時	ガーゼ(大・中・小)折。	4名

② ケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」

1994年3月より市内のケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」への訪問を開始し、施設の清掃、デイサービスの補助、散歩、買い物の介助などを行っている。主に、木曜日は施設内の清掃、金曜日はデイサービスの補助を行っている。年々、活動は停滞している。今年度は1回のみ。

③ デイサービスセンター輝きのまち（ケアハウス池田）

1996年度の10月より市内のケアハウス「輝きのまち ケアハウス池田」併設のデイサービスセンターへの訪問を開始し、週1回木曜日に特別浴の着脱のお手伝いを行っている。また、1997年度10月より月曜日にもデイサービスのお手伝いを行っている。今年度は2回のみ。秋の「ふれあいまつり」には3名がお手伝いに行かせていただいた。

④ 寝屋川保健所主催行事への協力

☆神経系難病者交流会「ひまわり会」への参加

月に1回開かれる大阪府寝屋川保健所主催の「ひまわり会」でボランティアとしてお手伝いさせていただいた。

⑤ シニアサポートセンターめぐみの第三者委員に任命されている。

(4) 子どもたちと遊ぶ活動

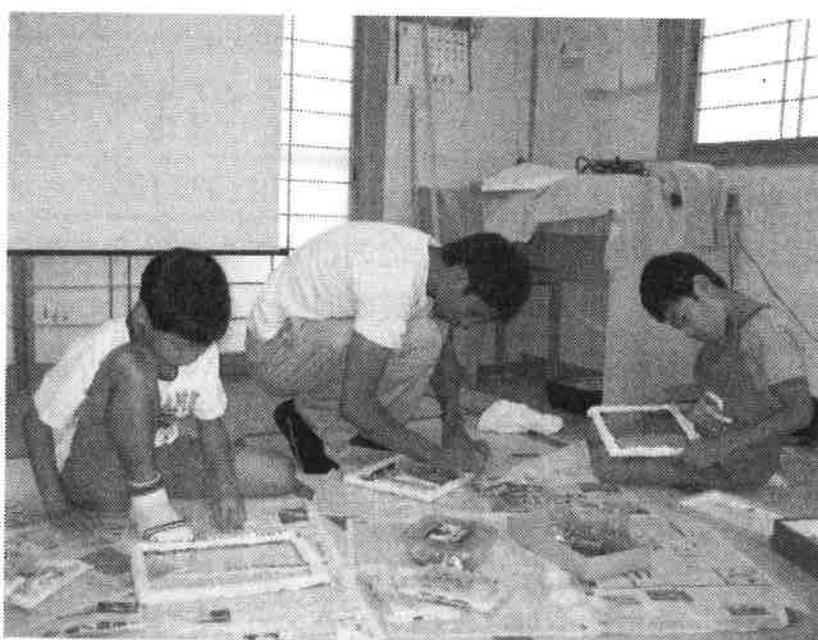
① そるどみ (SOL DE DOMINGO) の開催

障害の有無にかかわらず、地域の子どもたちとボランティアと一緒に遊ぶ活動。2009年度の登録メンバーは4名。毎月第1日曜日に「すだち」を拠点に活動を行っている。(1月のみ、第2日曜日に変更して開催。) 学生、社会人を中心にして、毎回4~10名程度のボランティアが参加している。

4月	5日(日)	メンバー 4名	ボランティア 7名
5月	3日(日)	メンバー 4名	ボランティア 5名
6月	7日(日)	メンバー 4名	ボランティア 5名
7月	5日(日)	メンバー 4名	ボランティア 7名
8月	2日(日)	メンバー 4名	ボランティア 9名
9月	6日(日)	メンバー 3名	ボランティア 4名
10月	4日(日)	メンバー 1名	ボランティア 5名
11月	1日(日)	メンバー 2名	ボランティア 5名
12月	6日(日)	メンバー 4名	ボランティア 12名
1月	10日(日)	メンバー 4名	ボランティア 9名
2月	7日(日)	メンバー 3名	ボランティア 5名
3月	7日(日)	メンバー 4名	ボランティア 9名
総計		ボランティア	のべ82名

★研修：そるどみリーダートレーニングを開催

2月11日(木・祝) 参加者 8名



【そるどみ】

② こもます (?Como mas?) の開催

そるどみを卒業した中学生対象のプログラムを開催した。登録メンバーは3名。月1回、「すだち」を拠点に、遊びを深めたり新たな取り組みに挑戦したりする活動を行った。(1月のみ、そるどみと合同で開催。)

4月 4日 (土)	メンバー 2名	ボランティア 3名
5月 6日 (水・祝)	メンバー 3名	ボランティア 3名
6月 14日 (日)	メンバー 2名	ボランティア 3名
7月 23日 (木)	メンバー 1名	ボランティア 3名
8月 10日 (月)	メンバー 2名	ボランティア 3名
9月 19日 (土) ~ 20日 (日)	メンバー 3名 (うち 2名宿泊)	ボランティア 3名
10月 11日 (日)	メンバー 2名	ボランティア 3名
11月 8日 (日)	メンバー 2名	ボランティア 2名
12月 13日 (日)	メンバー 1名	ボランティア 3名
1月 10日 (日)	メンバー 3名	ボランティア 9名
2月 14日 (日)	メンバー 2名	ボランティア 3名
3月 14日 (日)	メンバー 2名	ボランティア 3名
総計		ボランティア のべ 41名

③ びっくりおもちゃ箱の開催

ボランティアと地域の子どもの遊びのプログラムとして、関係機関・学校に広報し行った。

2009年度は、夏休みプログラムとして開催した。

8月27日 (木) メンバー 2名、ボランティア 4名が参加しました。

(5) 社会的ひきこもり社会参加支援

① 06・07年度、府が行っていた社会的ひきこもり社会参加支援グループ事業を実施していた。このモデル事業は府内2カ所で行われ、そのうちの1カ所を委託をうけ実施した。一年半で社会的ひきこもりネットワーク会議からの推薦で7名の方の支援を行った。モデル事業は、2007年度で終了。その後も活動を続けている。

・サロン活動 毎月 5~6回程度。

テーマは、お菓子作り、事務局ボラ活動など

② 今年度より、寝屋川保健所主催で社会的ひきこもり者実務者会議が開催されており、それに参加している。

B 障害者自立支援法に基づく事業

(1) 社会参加活動センター「ぼちぼちはうす」

障害のある方の豊かな日中活動を行っていただく場として、「ぼちぼちはうす」を2000年10月より開設した。2003年度からは、寝屋川市の基準該当の身体障害者デイサービスとして知的障害の方の相互利用を含めて、運用することになった。

その後、2006年度、障害者自立支援法により存続の危機に直面。2006年3月19日の毎日放送「映像06」でぼちぼちはうすが取材・放送された。放送後、117人の方から288万2100円の寄付をいただき、ぼちぼちはうすの横を新たに借りあげ改装し、「ぼちぼちはうす新館」を開設。障害者自立支援法制度施行後は、2006年度上半期は「障害者デイサービス」として、下半期は「経過的デイサービス」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営をした。

2007年度より、市の委託事業として旧障害者デイサービスの移行種別である「地域活動支援センターⅡ型（定員15名）」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営している。

利用時間は9：50～16：10である。重度障害者等包括支援事業の対象の方が4名、地域活動支援センターⅡ型の登録の方が16名（うち、「ゆろ・りろ」4名、「風ride（プライド）2名、パラデロ2名、その他1名含」となっている。もともと利用されていた重症心身障害の方、全身性障害の方、知的障害の方に加えて、高次脳機能障害や精神障害の方が増えている。

見学・来訪者は134名、ボランティアはのべ142名であった。

ぼちぼちはうす利用者の障害程度区分について（ゆとりろ除く）

計	6（重度包括）	6	5	4	3	2	1	未判定
16人	4人	6人	3人		1人			2人
	25%	37.5%	18.8%		6.2%			12.5%

区分6 = 62.5%



【ぼちぼちはうす】

② 「ゆと・りろ」(精神障害者ユニット)

「食事」を中心としたプログラム。メンバー間で献立を考え、買い出しをし、調理等も役割分担をするプログラム。仲間やボランティアも交えて楽しく美味しく食事を囲んで過ごす内容のもの。一人一人が役割を持ち自分らしいスタイルで過ごすことを目的している。現在、登録者数4名。

2009年度の利用者は197人。ボランティアのべ87名

11月には、日曜日のお試しプログラムも開催した。

開催曜日	第月曜日 (PM)	火曜日 (AM) (PM)	月・木曜日
プログラム名	情報PPP	AM ランチ皇子 PM 甘味党の会	ランチ王
内 容	パソコンについてみんなで勉強する場です。ブログを作ったりします。	栄養バランスの整ったお弁当を注文し、簡単なみそ汁を作り食べます。(AM) サロン的(座談会)な場でヘルシー&簡単なお菓子をつくったり、簡単ストレッチなどをして、みんなとゆっくりした時間を過ごします。(PM)	献立から買い出し、調理。そしてもちろんおいしくご飯も食べちゃいます！一人ひとりがオーナー兼シェフになります

③ 風ride（プライド）

自立生活支援センターづくりをめざして活動をしている。メンバーは2名。2009年度は、自立生活プログラム（初級編）をメンバー2人がリーダーとなり、昨年2月より開催した。また毎月、第3日曜日に「語ろう会」も開催し、12月から隔月で一人暮らしをされている方をお呼びして、講演をしていただいている。

西宮・メインストリーム協会の自立生活プログラムに参加をさせていただいた。

④ パラデロ

高次脳機能障害の方を主に対象としたプログラム。リハビリ的な要素を取り入れ、紙すきや古切手を使った画づくり、園芸などの作業、あとは個別プログラムとして、音楽プログラムやパソコンなどをおこなっている。

(2) ヘルパーステーション「ほっと」

① 障害者居宅介護事業

2002年度より、精神障害者の居宅介護等事業をはじめた。2003年度より、身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業も開始した。

2006年度は、障害者自立支援法による改正があり、現在は、居宅介護（身体、知的、精神、障害児）、重度訪問介護（全身性障害）、行動援護（知的、精神）、重度障害者等包括支援事業と、市の委託により移動支援事業を行っている。

2009年度在宅サービス実績（上段／下段は2008年度）

	利用者数	回 数	時 間
居 宅 介 護	4人 (3人)	460回 (466回)	1476時間 (1345時間)
重 度 訪 問 介 護	6人 (5人)	420回 (389回)	3312時間 (2900時間)
行 動 援 護	4人 (4人)	269回 (275回)	1185時間 (990時間)
移 動 支 援	26人 (26人)	432回 (456回)	2222時間 (2501時間)
重度障害者等包括支援事業	5人 (5人)		9663時間 (9624時間)

※ 法人事業の「ヘルパーステーションほっと」と「ぼちぼちはうす」の苦情解決第三者委ついては、追手門学院大学講師の古川隆司さんにお願いしている。

C 介護保険法に基づく事業

実績なし。休止中。

D 移送サービス事業

10年前、市内の住民参加型在宅福祉サービスを手がけていた団体が解散することになり、その団体が日本財団から、もらいうけていたリフト付きの軽ワゴン車を譲渡されることになった。以前より、病院などへの車での移送、送迎は在宅ケースとして対応していたが、車の譲渡を機に、リフト付き軽ワゴンの貸出およびこの車を利用した移送ボランティアによる移送を行っていた。

現在は、国のNPO等による移送サービスの制度化が進んだことにともない、2005年度半ばに運営協議会の結成後、NPO法人有償移送（いわゆる道路交通法80条適用移送）の申請を行った。しかしながら、積極的に事業を行う姿勢はとっていない。

情報などの収集のために関西STSに参加している。

【2】コーディネート事業・相談活動・ボランティア支援・当事者支援活動

A 障害者自立支援法に基づく相談活動

(1) 寝屋川市障害者相談支援事業の委託運営

2002年度より、寝屋川市より市町村障害者生活支援事業の委託を受け、寝屋川市民たすけあいの会地域生活支援センターを運営している。制度の改正に伴い、大阪府の指定相談支援事業所となり、また、寝屋川市の委託相談支援事業所になった。

総合相談件数／連絡調整件数 837件

難病者ピアカウンセリング・・・毎日

視覚障害者ピアカウンセリング・・・毎月第4土曜日

市から依頼され、

聴覚障害者ピアカウンセリング・・・聴覚言語部会の取り組みに補助している。

(2) 相談支援機能強化事業の委託運営

相談支援機能強化事業の委託を受け、主に、ネットワーク推進員として、寝屋川市障害者地域自立支援協議会の運営に参画している。

精神障害者自立支援会議、寝屋川市就業・生活支援準備センター運営委員会・実務者連絡会などの会議にも参加している。

(3) 障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣
障害者自立支援法の介護給付のサービスを受けるにあたり、認定審査をする必要がある。二次審査として審査会が設置され、その審査員としてスタッフを派遣している。

(4) サービス利用計画策定事業

指定相談支援事業所として、6名の方のサービス利用計画の策定を行っている。一人暮らしの方、高齢の要介護の親御さんと同居の方、退院支援を行った方である。

B 地域ネットワーク活動

(1) 関係機関会議への出席

① 在宅難病患者地域ケア推進会議

寝屋川市内の在宅難病患者の地域ケアにかかわる関係機関の職員によって行われることになった在宅難病患者地域ケア推進会議に出席した。

② 精神障害者自立支援会議

精神病院への入院が長期化している精神障害者に対し、保健・医療・福祉の関係機関が連携して支援計画を樹立し、退院・地域での自立を支援する方策や地域システムを検討をする会議。以前行われていた精神保健福祉合同委員会を吸収するような形で行われている。

(2) ボランティア関係の会議への出席および参画

① ボランティア連絡協議会

寝屋川ボランティアセンターの登録グループの連絡協議会へ参加。ボランティアセンター、他のグループとの相互理解・情報交換を進めた。

② 大阪ボランティア協会パートナーシップ団体への登録

③ ろうきんパートナーシップ

大阪ボランティア協会と労働金庫が共催しているボランティア推進プログラムの受け入れ先を10年前から行っている。今年度も受入はなかった。

(3) 精神障害者支援機関のネットワークへの参画

① 精神障害者地域交流事業への協力

大阪府が推進している、精神障害者地域交流事業を行っている「Club E&T」(旧ひなたぼっこの会)の運営への協力と各交流事業へ参加した。事務局も昨年に引き続き担当。月に1回定例で運営委員会も行われている。

- Club E&T 運営委員会 開催数：11回 参加数：67名 *内当事者0名
- ふれあいの会（当事者が中心にイベントを企画する会議）
 - (ア) 会議 開催数：12回 参加数：97名 *内当事者85名
 - (イ) イベント(当事者中心に企画されたイベント)
 - 開催数：4回 参加数：36名 *内当事者32名
 - (ウ) チラシ編集会（広報活動。イベント案内やチラシの作成をする会）
 - 開催数：10回 参加数：41名 *内当事者31名
- 講演会（「WRAP」について）

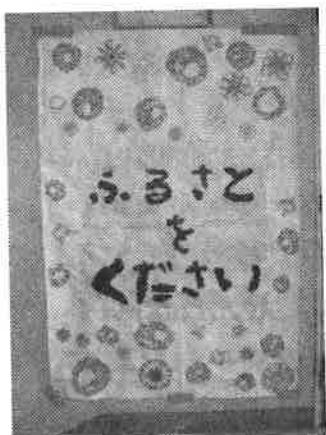
講師：浜崎裕佳 二星りさ
(コープランドセンター認定ファシリテーター)

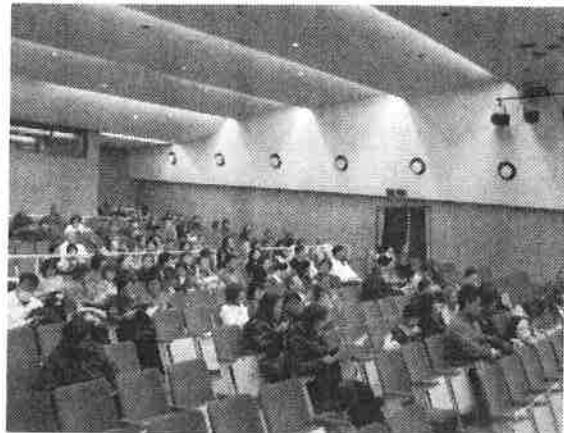
日 時：7月11日 場所：寝屋川市立保健福祉センター 5階多目的室
参加数：28名 *内当事者13名
- 第5回就労のつどい（現在就労している、また就労を希望する方が集い交流をする場）
日時：9月5日 場所：寝屋川市産業振興センター 第1セミナー室
参加数：29名 *内当事者21名
- 春の遠足（滋賀県「ブルーメの丘」）
日時：3月28日 場所：ブルーメの丘 参加数：24名 *内当事者20名

総計回 のべ322名 (*うち当事者数202名)

② 精神障害者実務担当者会議への参加

市が主催する会議。今年度は、2月に「こころの健康フェスタ」を開催。その映画会の実行委員会として参加した。「こころの健康フェスタ in ねやがわ」第2部映画会「ふるさとをください」の上映会を開催した。





C ボランティア活動支援事業

① ボランティア・サロンの開催

ケース検討会が休止したこともあり、またボランティア同士の交流の機会が減っていることから、ボランティアの活動報告と交流を目的に新しく開始した。

5月、6月、10月、11月、3月の第4水曜日の午後に開催した

D 当事者団体支援活動

▼カンガルー倶楽部

1992年10月「子育てのお母さんたちへ」の講演会を機に発足。若いお母さんたちのグループ。毎週1回、子どもたちの遊び、お母さん同士の交流を中心に活動を続けている。また、会報も発行している。ビューローとしては連絡調整、会場・備品の提供などをおこなっている。

→現在は、連絡がと切れたままになっている。

▼寝屋川難病連絡会

96年度の5月12日に、市内の難病団体および難病者のための寝屋川難病連絡会の発足総会が行われた。また月1回の運営委員会が行われている。当会はその事務局として、連絡調整、広報、会場・備品の提供などを行っている。

寝屋川難病連絡会第15総会が11月15日(日)に行われた 15名参加

★寝屋川市障害者長期計画策定協議会への当事者委員としての参加

障害者基本法に位置付けられた寝屋川市障害者長期計画の策定協議会に推薦、参画した。

★障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣

▼障がい者の自立を考える会「やじろべー」

車いす利用者の4名を中心に自分たちの自立生活を考える会として発足。障害者自立に関することを考えながら、特に余暇的な活動を中心にされている。

【3】教育・啓発活動

A. インプロ・パーク

インプロとは英語のインプロヴィゼーション=「即興」の略。元々は俳優のトレーニングとして開発された即興劇のプログラムで、わが国でも90年代以降、学校教育、企業研修などいろいろな分野でコミュニケーションワークショップとして応用されている。

東京からファシリテーターの方をお呼びし、開催した。

7月20日（月・祝） 参加者17名

B. ワークショップ等の開催

当会にかかわるボランティアやスタッフを対象に、日々の活動を見つめるきっかけや気づきの機会として、「楽しい」をキーワードにしたワークショップ3回と、「遊び」に関する体験活動を行った。

① 連続ワークショップ 「『楽しい』」の直送便（3回シリーズ）

参加者総計 のべ 21名

② 「冒険遊び場」でおもいっきり遊ぼう！

堺市にある冒険遊び場「ちょっとパン」を訪ね、自然の中で一日さまざまな遊びをつくり出す時間を持った。

1月11日（月・祝） 参加者 5名

【4】コミュニティ・メディアにかかる活動

A. カフェ放送「てれれ」の上映会の開催

大阪市にある映像発信「てれれ」という団体が展開している取り組み。様々な視点で作られた、いろんなテーマの10分以内の映像作品を1時間のプログラムにして、カフェなどで隔月定期上映されている。その「てれれ」のプログラムを、スタッフやボランティアさんとともに見る会を開催した。

総計 6回 のべ参加者27名

【5】国際的な草の根の交流を行う事業

A. フィリピンのソーシャルワーカーとつながる

フィリピンのバギオという都市で活動をしているソーシャルワーカーの方を招いて、意見交換・交流を行った。

・4月10日(金) ウェルカムパーティ 参加者 5名

・4月11日(土) フィリピン企画
「聞いてみよう！ 話してみよう！ with Mariebel」

参加者 12名

フィリピンの生活、地域のこと、障害児を支援している活動の話などを聞いたり、話し合いをする中から、自分たちの暮らしや活動について考える機会をもった。

- ・4月12日(日) フィリピンのNGOの障害児ケアとソーシャルワークの実践から

～日本・フィリピン：ソーシャルワークの原点について学びあう～

J P C o m(NGO)との共催。龍谷大学にて

アジア人権基金「草の根イベント助成金」を受けて

- ・4月13日(月) 乙訓ひまわり園 訪問&見学 3名

- ・4月14日(火) 相楽福祉会 訪問&見学 6名

【6】リサイクルバザー事業

A ほちほちバザール

毎年、7月に市内の団体に声をかけて、共同で行っているバザー。

日 に ち：7月12日(日) (主催：5団体の参加)

場 所：総合センター1階

売 上：47,850円 当日のボランティア 9名

【2】組織と運営

【1】会員

(1) 会員数=会費納入者

2010年3月末現在

	個人会員	団体会員	注) 数字のカウントの仕方
08年度までの会員	171名	12名	→2008年度会費納入者数
09年度 加入者	36名	2名	→新規および復活者数
09年度 退会者	31名	2名	→退会および2009年未入者数
会員数	176名	12名	
総会員数	188名		→2009年会費納入者数

(2) 会員へのサービス

- 1) 会誌「つなぐ」の送付 6回
- 2) ボランティア保険への加入（一部会員のみ、会費より）

【2】組織活動（敬称略）

2009年度の総会での決定事項を受けて、NPO法人寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンターの名称変更、および、組織の一元化を行った。

(1) 定期総会

- 日 時 2009年5月10日（日） 10:30～12:00
場 所 ぼちぼちはうす
議 題 1) 2008年度事業関係の審議・承認
2) 2009年度法人事業報告および計画・予算計画の審議・承認
3) 2009年度役員選出
出席者 115名（委任状提出者86名、非会員3名を含む）

(2) 運営委員会

毎月第1月曜日 13:30～15:30

運営委員：黒田民子、上野谷加代子、田中哲次郎、別所訓子、中尾京子、
西尾美津子、橋本義郎、森川加代、村井謙太、守本友美

主な議事 事業の企画と調整

(3) 理事会

毎月第1月曜日 15:30～16:30

たすけあいの会の運営委員会時に開催。

(4) 職員

2009年度の常勤職員。

村井謙太、富田昌吾、中務飛鳥、福井美奈子、西岡寛信、吉田智里、

藤本祥平、大村静香、山田久美子、大島亜弓、 山野仁美(休職)

三国洋子・近藤由美子(常勤ヘルパー)、

(5) 福祉事業を考える会(仮称)

3月26日に第三者委員の古川さんと運営委員の守本さんの呼びかけで、開催。

この日はばちばちはうすの利用者さんと親御さん数人に集まっていた

た。

【3】広報活動・寄付を求める活動

(1) 会誌「つなぐ」の発行 6回

* B5版、手書き、10ページ 700部(隔月刊)

★身体障害者刊行物協会の出版として第3種郵便物として発行

(2) ホームページの公開

<http://homepage3.nifty.com/neyagawatasukeai>

(3) イオンの行っているイエローレシートキャンペーンに参加した。

(4) リサイクル・インクカートリッジ事業に取り組んでいる